

第2回横浜市戸塚区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会（1日目）議事録	
日 時	令和2年3月27日（金） 午後1時から3時40分まで
開 催 場 所	戸塚区役所8階大会議室
出 席 者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 西尾 敦史 （愛知東邦大学 人間健康学部 人間健康学科 教授） 委員 新井 敏行 （名瀬連合町内会会長） 石井 徹 （汲沢地区民生委員児童委員協議会会長） 落合 清子 （戸塚区保健活動推進委員会 副会長） 中嶋 伴子 （とつか区民活動センター センター長） 中瀬 明德 （東戸塚地域活動ホームひかり 施設長） 福本 雅美 （戸塚区地域子育て支援拠点とっこの芽 施設長） 鷺見 悦子 （東京地方税理士会 戸塚支部 会員）</p> <p>【事務局】</p> <p>戸塚区福祉保健課長 松本 真佐人 戸塚区福祉保健課事業企画担当係長 上田 久美子 戸塚区福祉保健課事業企画担当 榎田 悦子、谷口 洋一、田島 直美、 宮内 裕貴</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開 一部非公開（傍聴者0人）
議 題	1 委員会の成立について 2 会議の公開について 3 審査手順及び各種照会結果の報告等について 4 面接審査 5 意見交換／講評 6 指定候補者の選定
決 定 事 項	指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者（以下「次点候補者」という。）として、次のとおり、横浜市戸塚区長に報告することとする。 <ol style="list-style-type: none"> 横浜市上矢部地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 であいの会 次点候補者：なし 横浜市東戸塚地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 次点候補者：なし 横浜市上倉田地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者

	<p>指定候補者：社会福祉法人 開く会 次点候補者：なし</p>
議 事	<p>1 委員会の成立について 議事に先立ち、委員8名のうち8名の出席があることから、過半数を超えているため、本委員会は成立。</p> <p>2 会議の公開について 事務局から会議の公開について、第1回選定委員会の決定事項のとおり、面接審査のプレゼンテーションについては公開とし、採点及び指定候補者の選定時は非公開とすることを確認した。なお、傍聴の申込が無かったことも併せて報告した。</p> <p>3 審査手順及び各種照会結果の報告等について 事務局から、公募の結果、本会で審査する3施設（横浜市上矢部地域ケアプラザ・横浜市東戸塚地域ケアプラザ・横浜市上倉田地域ケアプラザ）については、各1団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の2点について確認した。</p> <p>(1) 面接審査の進め方及び質問項目の確認 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接審査から指定候補者の選定までの全体の流れについて説明。 ・応募団体の採点方法や評価基準項目等について説明。 ・1施設に対して1団体のみのお応募となっているが、最低制限基準（「7 前期の指定期間の実績」を除く満点の60%となる点。以下同じ。）に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 <p>(2) 各種照会結果の報告及び応募団体が欠格事項に該当しないことの確認 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して神奈川県警に照会した結果及び、横浜市財政局に市税納付状況等の確認を行った結果、すべての応募団体について資格要件を満たしていること並びに、横浜市健康福祉局が第三者機関に対して行った財務評価委託の結果を報告。 <p>4 面接審査</p> <p>(1) 横浜市上矢部地域ケアプラザ</p> <p>ア プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>イ 主な質疑応答</p>

(委員) 阿久和川の清掃へ参加しているとのことだが、詳しく説明してほしい。

(団体) 阿久和川の清掃については、みんなのまちづくりというグループが立ち上がっており、10年程前から、上矢部小学校と共催で地域のボランティアと一緒に活動しており、第4日曜日に地域交流コーディネーターが参加している。

(委員) 応募関係書類等を拝見したところ、災害に対する意識が高い印象を受けた。その中で、大地震を想定したシミュレーション（静岡HUG）を、ゲーム要素を取り入れて実施しているとのことだが、どの程度参加していてどのように実施したのかを詳しく説明してほしい。

(団体) 民生委員児童委員とケアマネジャーの連絡会で、カードの内容を矢部町や上矢部町等この地域に当てはめたシミュレーションを年2回実施した。

(委員) ボランティア登録の状況と、どのような内容で活動していただいているのか。

(団体) ボランティア登録人数は100人程度で、ボランティア連絡会には毎回40人から50人程度の参加がある。

また、おひとりで参加することがなかなか難しいとの声があるため、個人でも参加しやすいよう皆さんの関心があるような内容のボランティア講座（シニアカレッジや盆栽講座、料理講座等）の開催や、網戸の張り方やコーヒーの淹れ方講座を受講していただき、地域のシニアボランティアポイントなどへ登録していただき実際にボランティアに参加してもらうような働きかけも行っている。

(2) 横浜市東戸塚地域ケアプラザ

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、担当地域の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 本地域ケアプラザの担当地区は、新旧住民が混在していて町内会加入率の低さなどが特徴のひとつとして挙げられると思うが、町内会加入促進に向けて取り組んでいることはあるか。

(団体) 地域ケアプラザとしては、町内会に未加入で情報が行き届きづらい方々にも町内会に加入している方々と同じような情報が得られるよう、連合町内会とも相談をしながら個別に連合町内会未加入のマンション等への情報提供をしている。また町内会の加入未加入に関わりなく、地域の催しは盛んで交流もある。

(委員) 事業計画書にある買い物支援について、具体的に教えてほしい。

(団体) 想定しているものは、デパートやスーパーの移動販売車の協力だが、

他の地域で事例のあるような住民主体の送迎サービスも地域の方々と相談をしながら検討していけたらと考えている。

(委員) 子育て世帯について、連合未加入世帯が多いこともあり、仲間づくりに向けて取り組む一方で、そういった世帯が地域に根ざしていく取組も重要だと思われるが、どのように考えているか。

(団体) 親子サークル等を介して、輪を広げていければと考えている。事業計画書にも記載したとおり、子育てを経験した親が OB, OG としてつながり続けてもらえるような仕組みを支援機関と一緒に進めていきたいと考えている。

(委員) 見守りネット連絡会について、東戸塚は駅中心の都市型の地域で、企業や商店に声をかけて積極的に連携している印象があるが、今後の展望があれば教えてほしい。

(団体) 住民を中心に添えられるように、民生委員児童委員の協力を得るほか、認知症サポーター養成講座を地域の学校で実施することで子ども達も巻き込めるよう取組を広げているところである。

(3) 横浜市上倉田地域ケアプラザ

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 長く取り組んでいる事業として「上倉田シネマ館」があるが、現在の取組状況を教えてほしい。

(団体) 上倉田シネマ館は、高齢の方が懐かしく思うような映画を上映し足を運んでもらうことで、まずは地域ケアプラザがどのような場所なのかを知ってもらい、相談等で来館してもらいやすくするために実施している事業で、現在は上映の前後で地域ケアプラザの説明や相談の受付なども行っている。

(委員) 柏尾川に隣接しており、水害等の懸念があるかと思うが、防災・水害対策で考えはあるか。

(団体) 合築であるコンフォールの自治会とは、水害時には避難させてもらえるように調整はしている。

その他、職員間で年1回マニュアルの確認やシミュレーション訓練を実施している。

(委員) 事業計画書の自主企画事業の中に、子ども子育てについて家族で参加できる事業を企画していくことが記載されているが、その内容を具体的に教えてほしい。

(団体) ファミリー支援は、次期指定期間の5年間で軸にして取り組んでいきたいと考えているテーマで、現在実施している取組としては、親子

での交流と併せて木製のおもちゃに触れてもらう「おもちゃのひろば」やスポーツセンター共催の親子体操教室、図書館共催のパパやじいじの読み聞かせ講座がある。

5 意見交換／講評 及び

6 指定候補者の選定

面接審査及び選定委員のうち財務に関する有識者と事務局からの追加説明を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計、意見交換及び講評を行った。

(1) 横浜市上矢部地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 であいの会	1,992／2,480 点 うち最低基準対象得点 1,992／2,400 点
次点候補者	なし	

(審査講評)

- ・様々な地域活動を積極的に実施している地域なので、それらを生かした運営をしてくれることを期待する。
- ・区内で一番長く運営されている施設の指定管理者として、これまで様々な実績もあるが、今後も引き続き先進的な取組を進めていってほしい。
- ・事業計画書の「1 運営ビジョン」や面接審査でもあったように、地域の方が生活する中で「ちょっと気がかり」なことに気づいた時に地域ケアプラザに連絡がもらえるような関係づくりができていた点を評価する。
- ・「上矢部ケアプラカード」といった、地域ケアプラザが実施する自主事業や講座の参加者の参加意欲を高める方策を、閉じこもりの予防などにもつなげる工夫をとらえて実施している点を評価する。
- ・阿久和川の清掃に参加するなど、地域の一員として地域の重要な資源の保全にも協力している点を評価する。

(2) 横浜市東戸塚地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	2,127／2,480 点 うち最低基準対象得点 2,062／2,400 点
次点候補者	なし	

(審査講評)

- ・転出入者が多いという地域の特性等を分析した事業計画となっており、新しい住民が住み続けたいと思える地域づくりという目標に向けて、子育て世帯を対象とした事業展開の提案をしている点を評価する。

- ・居場所づくりについての取組は、広く展開されてきているので、今後はそこから地域に根付くよう事業展開をしていくことを期待する。
- ・サービス付き高齢者住宅が増えてきている駅前の地域から県営団地がある古くからの地域まで、様々な特徴のある地域を擁する中で、それぞれの地域特性や課題に対し真摯に向き合っている点を評価する。
- ・認知症について明るく理解を深められるようなイベント等、新しい取組にチャレンジしている点を評価する。

(3) 横浜市上倉田地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点/満点
指定候補者	社会福祉法人 開く会	1,949/2,400 点 うち最低基準対象得点 1,939/2,320 点
次点候補者	なし	

(審査講評)

- ・一人ひとりに向き合うという法人の理念が、職員に浸透している印象があり、それが事業の基礎になっている点は、人材育成という点で評価できる。
- ・駅周辺の働き世代が多い地域であり、つながりづくりやネットワークづくりが課題になることが想定される中で、「地域と繋がりたい」といった意欲のある方々の発掘や地域へつなぐ取組に挑戦して欲しい。
- ・柏尾川と線路の間にあり、地域交流の場として立地的にアクセスのしづらさがある中でも、ファミリー支援等、独自の取組を企画している点を評価する。
- ・倉田コミュニティハウスなど、近隣の地域交流の場や関係機関と連携をしながら、外に出ていく運営を期待する。

各施設への応募団体の得点は、いずれも最低制限基準の60%以上であるため、選定委員会として指定候補者として選定することを決定する。

資 料
・
特 記 事 項

1 資料

- (1) 面接審査について
- (2) 各種照会結果について
- (3) 各施設への応募関係書類 (一式)
- (4) 財務分析結果報告書
- (5) 前期の指定管理業務の実績報告書
- (6) 採点表

2 特記事項

特になし